

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2016 自治体部門「先進エネルギー自治体大賞」最優秀賞の受賞について

「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」は、全国で展開されている次世代に向けたレジリエンス社会(強くてしなやかな国)の構築への取り組みを発掘、評価、表彰する制度であり、平成26年度に創設されました。

また、本年度、自治体が積極的に関与した先進エネルギーシステム構築の取り組み事例を表彰する「先進エネルギー自治体大賞」が新設され、この度、本町の森林バイオマスを最大限活用するエネルギー自治体に向けた取り組みについて、高い評価を受け、最優秀賞を受賞しました。

昨年11月に全国31の応募団体から一次書類選考を経て、2月2日に東京で開催された「先進エネルギー自治体サミット2016」の中で、18の上位賞受賞団体が最終プレゼンテーションを行い、決定

したもので、3月15日に東京丸ビルホールで授賞式が行われました。

本受賞は、下川町の半世紀にわたる森林・林業の取り組みと森林バイオマスエネルギー利用の取組実績及び今後計画している市街地における森林バイオマス地域熱電併給事業が高く評価されたものです。

今後も、下川町及び町民にとって有意義な事業であること前提に、地域林業・林産業及び地域経済の活性化に向けて、取組みを推進していきます。

■お問い合わせ

森林総合産業推進課

バイオマス産業戦略室

☎ 4-2511内線242

☆ 4-25112



授賞式の様子 武田副町長が代理出席